

# 太平洋戦争と冷戦の真実

飯倉 章・森 雅雄 著

四六判ソフトカバー240頁 本体 2,000円 ISBN978-4-8295-0826-8

太平洋戦争の「通説」にあえて挑戦し、  
冷戦の本質を独自の視点で深掘りする

開戦80年！ 従来の歴史書とはひと味違った側面史

- ＊「日本海軍は大艦巨砲主義に固執して航空主力とするのに遅れた」という通説は本当か？
- ＊「軍艦を失いながら生還した艦長は人事で冷遇された」という説は本当か？
- ＊“パールハーバーの記憶”はアメリカ社会でどのように利用され、戦後の安全保障政策にどんな影響を与えたのか？
- ＊米ソ首脳間の民生品をめぐる「キッチン論争」を通して、ジェンダーと家庭への封じ込めの視点で“冷戦”を読み解く



「戦艦大和」

1945年4月7日、坊ノ岬沖で敵機の攻撃を受けて後部砲塔付近から噴煙を上げる戦艦大和。



「パールハーバーを忘れるな！ 戦債を買おう」

戦時情報局が1943年に制作したポスター。日本の外交官（左下）が平和提案をしながら、背後から「12月7日」と記されたナイフが自由の女神を刺そうとしている。腕には「ジャップの背信行為」と書かれている。ナチスの鉤十字が外交官の肩とナイフの柄に見える。



＊日本にも波及したキッチン論争はメディアを通じた  
宣伝戦に

「キッチン論争」  
ニクソン副大統領(右)とフルシ  
チョフ首相(帽子)がキッチン論  
争を繰り広げている様子。1959  
年7月24日。

＊アメリカは民生品の優秀さで冷戦に勝利した

飯倉 章 (いいくら あきら)

城西国際大学国際人文学部教授。昭和31年生まれ。専門は国際政治学。

森 雅雄 (もり まさお)

元城西国際大学国際人文学部教授。昭和28年生まれ。専門は社会人類学。

## 第1章 戦艦大和の掩護 [森 雅雄]

大艦巨砲主義についての予備的考察／真珠湾攻撃とは何なのか／戦艦と母艦の建艦実績／機動部隊の建制の遅れ／戦艦の控置または運用／海軍航空史日米比較／イデオロギーとしての大艦巨砲主義批判／個人の誕生、または航空機搭乗員の社会学的意義

## 第2章 喪失艦から脱した艦長は冷遇されたのか [森 雅雄]

## 第3章 うつろうパールハーバーの記憶 [飯倉 章]

—アメリカの安全保障政策との関係を中心にして  
記憶という概念の検討／国民を統合する記憶としてのパールハーバー／アメリカの冷戦戦略とパールハーバーの記憶／価値ある同盟国としての日本と経済的パールハーバー／コメモレーションの場としてのパールハーバー／競合する記憶と記憶の政治力学／九・一一と諸々のパールハーバー／それは「恥辱の日」だろうか／オバマ、トランプ両大統領と安倍首相、そしてバイデン

## 第4章 キッチンをめぐる戦争 [飯倉 章]

—冷戦と家庭への封じ込め

冷戦史のなかのキッチン論争の背景／ニクソンへの助言／キッチン論争とは何だったのか？(キッチン論争をめぐるテキスト、新聞報道のなかのキッチン論争)／キッチン論争の表象(文化的聖像としてのモデルハウス、キッチン論争は、なぜ有名になったのか)／ジェンダー解釈とキッチン論争(ジェンダーとは？、メイによるキッチン論争の解釈)／「家庭への封じ込め」とは何だったのか？／ニクソン対ケネディと「男らしさの危機」／軍事が変えたアメリカ？ 冷戦と郊外の関係

## 第5章 日本とキッチン論争と冷戦の終焉 [飯倉 章]

百ルーブル事件をめぐる報道合戦／冷戦終焉後の最大の脅威としての日本／冷戦の終焉と日本

12月上旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 11月22日(月) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033  
東京都文京区本郷3-3-13  
http://www.fuyoshobo.co.jp  
TEL. 03-3813-4466  
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版

注文数

注文者

太平洋戦争と冷戦の真実

12月新刊

本体 2,000円

部